

Adrita Bhattacharya-Craven, ジュネーブ協会 Health & Ageing ディレクター

中心的なテクニカル・アドバイザーと主な貢献者:

Samuel F. Mikail, Sun Life Financial Mental Health Solutions (Central/Atlantic Canada, Integrated Health Solutions) ディレクター

Myralini Santhira Thesan, AIA グループ Group Health and Wellness Transformation メディカル・ディレクター

Steve Woh, Reinsurance Group of America (RGA) Global Health チーフ・メディカル・オフィサー兼保険金請求部門マネージャー

世界中で 10 億人近くの人々が、メンタルヘルスの問題を抱えて生活しています。¹ パンデミックが最も深刻な時期に実施された保健指標評価研究所(IHME)の研究では、さらに 5,300 万件の鬱病と 7,600 万件の不安障害が予測され、若年層と女性に偏って影響を受けていると明らかにしました。² 世界が新型コロナウイルス感染症のパンデミックから脱却する中、医療制度は、前例のないほど広範囲に渡り混乱に揺らぎ、メンタルヘルス・サービスの需要の急激な増加と戦っています。

保険の観点からのメンタルヘルス不調リスクに関する調査は、それほど多くありません。しかし、医療保険会社と生命保険会社は、最前線でその結果生じるショックを吸収する役割を果たしており、毎年 15B 米ドル近くのメンタルヘルス関連の身体障害保険金を支払っています。³ 本研究では、文献レビューの結果と保険業界の上級情報提供者 16 名の報告をまとめ、メンタルヘルスとメンタルヘルス不調によって生じる負担規模の定義付け、メンタルヘルス対策における生命保険と医療保険の現在の役割の検証、また予防から積極的な症例管理まで、メンタル・ウェルビーイングを大きく促進するための保険会社の貢献度を高める提言をすることを目的としています。

メンタルヘルスの定義とメンタルヘルスの不調の負担

これまでメンタルヘルスと精神疾患は、単一の連続体の両極性のものと考えられており、良好なメンタルヘルスは精神病理が存在しないことと定義されていました。Keyes and Westerhof's dual-continua model(図 1)⁴ は、メンタルヘルスは、「低迷」から「繁栄」までの一対の軸上で、主観的ウェルビーイングを複数の次元で構成するものであることを示し、この二元的な概念を変えました。したがって、良好なメンタルヘルスとは、単に精神疾患や精神的苦痛がないことではなく、全体的なウェルビーイングの状態として定義されるべきです。

メンタルヘルスの不調は、経済、個人、医療制度、および保険会社に大きな損害を与えます。The Lancet が発表した研究によると、メンタルヘルスの問題により、世界の健康と生産性の低下による損失は、2010 年の 2.5 兆米ドルから 2030 年には 6 兆米ドルに増加するとの見込みです。⁵ ちなみに、これは 2021 年の世界の GDP の 6% に相当します。⁶ メンタルヘルスが不調な人にとっては賃金差と雇用差を意味し、人生のチャンスを狭めていることとなります。また、メンタルヘルス不調は死亡率の増加と共生関係にあり、その原因の一部は身体的疾病率の上昇によって引き起こされます。これらはいずれも、多額の保険金請求につながります。例えば、イギリスでは、2020 年の所得補償保険請求の 27% がメンタルヘルスによるものでした。⁷ カナダでも、2021 年の保険会社(生命/医療保険合計)のメンタルヘルス不調に関連する保険金請求は、2019 年比で 75% 増加しました。⁸

¹ World Health Organization (WHO), United for Global Mental Health and the World Federation for Mental Health 2020.

² Institute for Health Metrics and Evaluation (IHME) 2021.

³ Swiss Re 2021.

⁴ Keyes and Westerhof 2010.

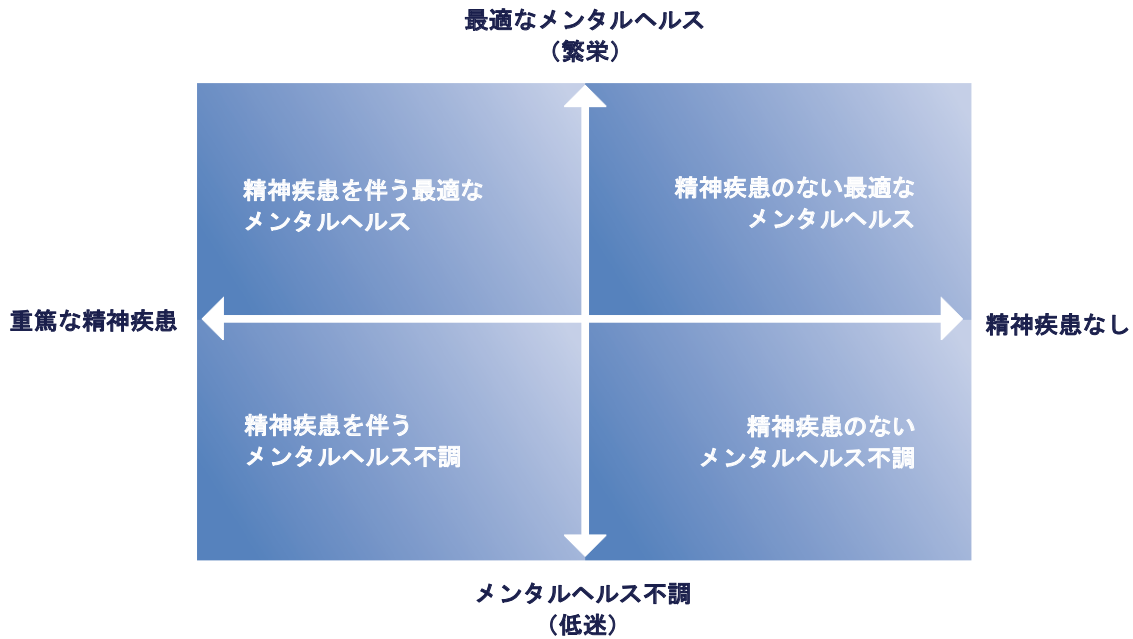
⁵ The Lancet 2020.

⁶ World Bank 2021.

⁷ Zurich 2021.

⁸ Canadian Life & Health Insurance Association 2022.

図 1:精神疾患とメンタルヘルス



出典:Keyes and Westerhof⁹

メンタルヘルスと保険

保険会社は、外部環境や保険特有の課題により難局に直面しています。前者には、差別感とそれに伴う需要、資金調達、労働力、診療慣行への影響があり、これらはすべて公共政策におけるメンタルヘルスの優先順位に影響を与え、アクセスへのさらなる障壁を助長する可能性があります。この実例として、2020年に経済協力開発機構(OECD)加盟国においてメンタルヘルス・サービスを求める人々の3分の2が、アクセスの困難さを報告したことが挙げられます。¹⁰ 保険特有の課題は、精神的な問題の非開示(意図的または無意識を問わず)、総合的な提案を設計する難しさ、さらにしばしば主観的な診断となる性質に起因する保険引受や保険金請求の妥当性の検証における複雑性の増加として現れます。

保険会社は、直面している運用上の課題を克服するために革新を進めていますが、規模拡大は依然として障害となっています。Mercer Marsh Benefits(MMB)の調査によると、26 各国の

226 の保険会社のうち、健康のための雇用給付制度でメンタルヘルス保障を全く提供していない世界の保険会社の数は、2021年の26%から2022年には16%に減少し、大幅に改善しました。しかし、世界の保険会社の5分の1近くが後れを取っています。¹¹ この差は、メンタルヘルス保険に対する雇用者側からの需要の低さを反映している可能性があります。しかし、保険会社が保険適用範囲を拡大している場合でも、複雑で一時的な入院または専門的な治療を重視する傾向がありますが、調査結果では、一般的な重篤ではないうつ病や不安が、最も多くかつ急速に増加している負担の原因であることを指摘しています。

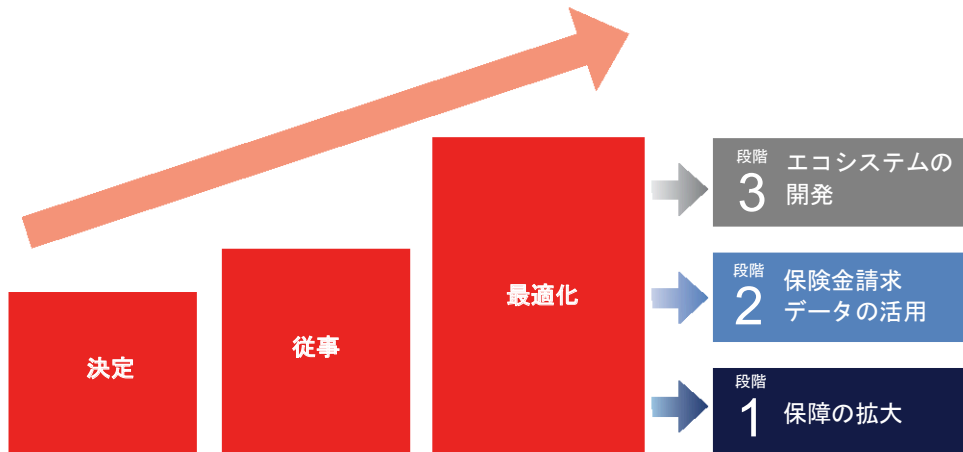
生命保険会社と医療保険会社が、現在起きているイノベーションの動きを土台にして、3段階の段階的な枠組みを利用して、メンタルヘルスの保険適用可能性を大きく改善する方法を提言します(図2)。

⁹ Keyes and Westerhof 2010.

¹⁰ OECD 2021.

¹¹ MMB 2022.

図 2:メンタルヘルスと保険:行程チャート



出典: The Geneva Association

第一に、既存の保険金支払いにメンタルヘルスを含めることは、明らかな進歩となりますが、保険会社は、世界的および市場に特化した調査に表れる動きの早い事実関係を考慮しつつ、メンタルヘルス専用の戦略を採用することで、さらに前進する機会を得ることが出来ます。この段階を**決定**と定義します。これは、保険会社が既に提供している保障範囲、規模、深度を改善し、世界中で最も一般的なメンタルヘルス不調症状である鬱病もしくは不安障害、またはその両方の影響を受けている人に合わせた保険契約を作ることに関与します。この戦略的アプローチを採用することで、臨床的および非臨床的*な性質を持つ身体的/人的ケアと組み合わせた新しい技術を取り入れることにより、予防と全体的ヘルスケアのために、既存または新規の提案の目標をいかにより良く定めることができるかを明らかにすることにも役立つ可能性があります。*(例: 財政上のウェルビーイングの向上施策としての親交やボランティア活動などの社会的支援)

第二に、メンタルヘルスに関連する差別感およびタイムリーなケアのための取り組みの不足を克服することは、業界の広範なプレーヤーがその顧客基盤に**従事**するための協調的な努力を保証するものと思われます。これは、団体向けプラン、デジタルツール、および既存または新規の提案採用を促進するための支援活動により行うことができます。

団体向けプランを通じて、保険会社は、メンタルヘルスに配慮した方針について雇用者に助言し、積極的にリスクを管理し、メンタルヘルスを改善するための明確な目標を設定することによって、既存の提案を活用して職場環境を改善することができます。同様に、対象を絞ったコミュニティへの介入やキャンペーンは、虚像や偏見を払拭するのに役立ちます。全体として、保険会社は、より良い精神的ウェルビーイングに対する無言のニーズを、個人または雇用主である顧客からのまとまった需要に変換することによって、市場を形成する機会を得ることができます。

最後に、現在のイノベーションは、重要な保険機能を**最適化**するための踏み台を提供します。このフェーズは、さらに次の3つの段階に分けることができます。

- **リスク評価へのより精緻なアプローチの採用:** 保険引受企業は、リスクの評価方法を再考し、それに基づいて、メンタルヘルスの問題を抱えている人々の保険加入を拡大する機会があります。これには、申請時に、(二者択一質問ではなく)適格性アンケートにより多くの階層を導入したり、公開されている利用可能な事実関係(集団レベルのデータなど)を使用して申請者の全体像を形成することなどがあります。このような革新的なアプローチにより、メンタルヘルスの不調な人々の保険加入を拡大することが証明されています。

- **保険金請求データの活用:**保険金請求の査定者は、新しいツールと研修によって、単に保険金請求の正当性を評価するだけでなく、それ以上の権限を与えられる可能性があります。保険金請求データから、リスクや請求に至った(大小の)事象の要因に関する重要な情報が得られます。また、両者の強い共生関係を考慮すると、身体的な健康上の保険金請求を処理する際に、メンタルヘルスが単なる後付け以上のものと見なされることも利点となるでしょう。
- **エコシステムの開発:**上記のすべての面を、データを活用した一貫性のある包括的なエコシステムに組み込むことで、特に団体向けプランを変革することができます。例えば、現在の慣行では、保険会社は、オンサイトまたはオフサイトの職域健康支援、従業員支援プログラム、所得保険または障害保険、健康保険制度など、大企業向けに多数のサービスを提供しているかも知れません。データを統合して中央ハブを作ることで、これらプランの効果的なトライアージ(優先順位付け)を行い、適切なレベルの臨床的、行動的、社会的、または財政的支援を提供することができます。これにより、メンタルヘルス関連の保険金請求の数や請求の平均コストが削減され、最も重要なこととして、利用者の経験が改善されることを示す証左が見られます。

参考資料

Canadian Life & Health Insurance Association.2022. *Annual Fact Book 2022*.

IHME.2021.*New Global Burden of Disease Analyses Show Depression and Anxiety Among the Top Causes of Health Loss Worldwide, and a Significant Increase Due to the COVID-19 Pandemic*. <https://www.healthdata.org/acting-data/new-ihme-analyses-show-depression-and-anxiety-among-top-causes-health-burden-worldwide>

Keyes, C.L.M., and G.J.Westerhof.2010.Mental Illness and Mental Health:The two continua model across the lifespan.*Journal of Adult Development* 17 (2):110–119.

MMB.2022.*Global Insurer Survey Report:MMB health trends 2023*.

OECD.2021.*A New Benchmark for Mental Health Systems:Tackling the social and economic costs of mental ill-health*. <https://www.oecd-ilibrary.org/sites/7486a219-en/index.html?itemId=/content/component/7486a219-en>

Swiss Re.2021.*Head First:Supporting consumers' mental wellbeing through insurance*. <https://www.swissre.com/institute/research/topics-and-risk-dialogues/health-and-longevity/expertise-publication-support-consumer-mental-wellbeing-through-insurance.html>

The Lancet.2020.Mental Health Matters.*The Lancet* 8 (11): e1352. [https://www.thelancet.com/journals/langlo/article/PIIS2214-109X\(20\)30432-0/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/langlo/article/PIIS2214-109X(20)30432-0/fulltext)

WHO, United for Global Mental Health and the World Federation for Mental Health.2020.*World Mental Health Day:An opportunity to kick-start a massive scale-up in investment in mental health*. <https://www.who.int/news/item/27-08-2020-worldmental-health-day-an-opportunity-to-kick-start-a-massive-scale-up-in-investment-in-mental-health#:~:text=Mental%20health%20is%20one%20of,every%2040%20seconds%20by%20suicide>

World Bank.2021.*World GDP (Current US\$)*. <https://data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.MKTP.CD>

Zurich.2021.*Zurich Mental Health Claims Double Over 12-month Period*. <https://www.zurich.co.uk/media-centre/zurich-mental-health-claims-double-over-12-month-period>